

# ファン ソリューションの ZTD におけるトラブルシューティング の 手順

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ファン ソリューションの ZTD プロセスによるトラブルシューティング の 手順](#)

[フィールド エリア ルータ \( 遠い \) 製造設定](#)

[SCEP 登録](#)

[トンネル提供](#)

[ずっとポート 9120 の HTTPS を使う場合のトンネル プロビジョニング 要求の TPS に連絡します](#)

[トンネルが彼女の間で確立されるこれずっとおよび以後だった後ログはと、ずっと直接彼女を伝えることができ、](#)

[デバイス 登録](#)

[ステップ 1. デバイス 登録の準備をして下さい](#)

[ステップ 2. CG-NMS はデバイス 登録要求を受け取ります](#)

[関連情報](#)

## 概要

ゼロ間この資料によくある問題を解決する方法を触れまず接続されたグリッド ルータ ( CGR ) およびフィールド Network Director ( FND ) で構成されているフィールド エリア ネットワーク ( ファン ) ソリューションの配備 ( ZTD ) に記述されています。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は CGR の ZTD 配備に基づいています。コンポーネントとして CGR ( CGR1120/CGR1240 ) が、FND、トンネル 供給サーバ ( TPS )、Registration Authority ( RA )、認証局 ( CA )、Domain Name Server ( DNS ) 含まれています。FND の以前のバージョン交換可能である CG-NMS は FND および Cisco Connected Grid ネット

トワーク管理システム ( CG-NMS ) はです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## ファン ソリューションの ZTD プロセスによるトラブルシューティング の 手順

### フィールド エリア ルータ ( 遠い ) 製造設定

すべてはこの製造設定から開始します従ってこのステップは正常な配置のためにキーです。

2 : Simple Certificate Enrollment Protocol SCEP

ZTD CG-NMS

通常容疑者:

- 資格情報その間ずっとおよび CG-NMS は一致する。
- それが https で http ではないことを ) 接続されたグリッド NMS エージェント ( トンネル提供のための CGNA ) URL は不正確です ( 確かめて下さい。
- TPS 完全修飾ドメイン名 ( FQDN ) を解決するために不適切に設定されるドメイン名 Serer ( DNS )。

の時にそれら二つのフェーズの解決する場合、製造設定はこのプロセス続く必要があります更新済である必要があります:

- HE とのブロック遠い接続 ( 物理的にまたは論理的に )
- Express セットアップ構成にずっとロールバック
- 変更を加えて下さい
- 新しい Express セットアップ構成ファイルを作成して下さい
- nvram の構成を保存して下さい
- 復元 接続は従ってずっと ZTD プロセスを再度引き起こすことができます

### SCEP 登録

このフェーズの目標はローカルデバイス識別 ( LDevID ) 認証を RSA 公開鍵インフラストラクチャ ( PKI ) から受け取り、許可の後で認証を得るためにずっと承認することです。このステップは遠いところに次のものの前提条件 TPS と通信し、と IPSec トンネルを確立することを必要とします認証が彼女です。

含まれるコンポーネントは次のとおりです: ずっと、RA、SCEP サーバ、RADIUSサーバおよびDB。

Tool Command Language ( TCL ) スクリプトによって呼出された tm\_ztd\_scep.tcl は自動的に SCEP プロセスを開始し、登録が正常になるまで試み続けます。

## 手順

### 含まれるコンポーネント トラブルシューティングのガイドライン

|   |           |   |
|---|-----------|---|
| イベント マネージャは tm_ztd_scep.tcl スクリプトを開始します | ずっと       | <ul style="list-style-type: none"><li>イベント マネージャコンフィギュレーションを確認して下さい</li><li>スクリプトによって使用される環境変数 設定を確認して下さい</li><li>接続および DNS をその間ずっとチェックして下さい</li></ul>    |
| RA FQDN 解決                              | ずっと、DNS   | <ul style="list-style-type: none"><li>この名前を変換するために DNS レコードをチェックして下さい</li><li>遠い登録プロファイル設定をチェックして下さい</li></ul>  |
| RA への遠い送信 SCEP 要求                       | ずっと、RA    | <ul style="list-style-type: none"><li>間のおよびずっと接続を RA チェックして下さい</li><li>RA 設定をチェックして下さい。PKI サーバは稼働する必要があります</li><li>RA と RADIUSサーバ間の接続をチェックして下さい</li></ul> |
| PKI 許可                                  | RA、RADIUS | <ul style="list-style-type: none"><li>RA PKI 認証のコンフィギュレーションをチェックして下さい</li><li>RADIUSサーバ設定をチェックして下さい</li></ul>   |
| 遠い認証発行                                  | RA、発行元 CA | <ul style="list-style-type: none"><li>RA と発行元 CA 間の接続をチェックして下さい</li></ul>   |

## トンネル提供

このフェーズの時に CG-NMS からトンネル設定を得るために、ずっと TPS と ( CG-NMS に代わってプロキシとして機能します ) 通信します。このフェーズは SCEP tcl スクリプトによって登録が CGNA プロファイルをアクティブにすることによって行われれば始められます。

含まれるコンポーネントは次のとおりです: ずっと、DNS、TPS、CG-NMS。

| 手順                                 | Componentets は含みました | トラブルシューティングのガイドライン  | 役    |
|------------------------------------|---------------------|---|------|
| CGNA プロファイルをアクティブにする TCL スクリプト     | ずっと                 | <ul style="list-style-type: none"><li>右のプロファイルが ZTD_SCEP_CGNA_Profile 環境変数のために設定されることを確認して下さい</li><li>間のおよびずっと接続を DNS チェックして下さい</li><li>この名前を変換するために DNS レコードをチェックして下さい</li></ul> | 役    |
| CGNA プロファイル解決 FQDN                 | ずっと、DNS             | <ul style="list-style-type: none"><li>CGNA URL の TPS FQDN 設定をチェックして下さい</li><li>チェック TPS サービスは実行されています</li><li>TPS keystore ファイルをチェックして下さい</li></ul>                               | す    |
| TPS の CGNA プロファイル 確立する HTTPS セッション | ずっと、TPS             | <ul style="list-style-type: none"><li>チェック TPS は CGR から TPS パケットを受信します</li><li>CGNA プロファイル設定をチェックして下さい</li><li>TPS および CG-NMS プロパティを確認して下さい</li></ul>                             | T tp |
| CG-NMS への TPS 前方トンネル 要求            | TPS、CG-NMS          | <ul style="list-style-type: none"><li>TPS と CG-NMS 間の接続を確認して下さい</li><li>TPS および CG-NMS ログをチェックして下さい</li></ul>   | F    |

## ずっとポート 9120 の HTTPS を使う場合のトンネル プロビジョニング 要求の TPS に連絡します

```
4351: iok-tps: Jul 13 2016 14:46:12.328 +0000: %CGMS-6-UNSPECIFIED: %[ch=1c3d5104]
[eid=IR809G-LTE-NA-K9+JMX2007X00Z][ip=192.168.1.1][sev=INFO][tid=qtp756319399-23]:
Inbound proxy request from [192.168.1.1] with client certificate subject
[SERIALNUMBER=PID:IR809G-LTE-NA-K9 SN:JMX2007X00Z, CN=IR800\_JMX2007X00Z.cisco.com]
```

```
4352: iok-tps: Jul 13 2016 14:46:12.382 +0000: %CGMS-6-UNSPECIFIED: %[ch=1c3d5104]
[eid=IR809G-LTE-NA-K9+JMX2007X00Z][ip=192.168.1.1][sev=INFO][tid=qtp756319399-23]:
Completed inbound proxy request from [192.168.1.1] with client certificate subject
[SERIALNUMBER=PID:IR809G-LTE-NA-K9 SN:JMX2007X00Z, CN=IR800\_JMX2007X00Z.cisco.com]
```

トンネルが彼女の間で確立されるこれずっとおよび以後だった後ログはと、ずっと直接彼女を伝えることができ、

```
4351: iok-tps: Jul 13 2016 14:46:12.328 +0000: %CGMS-6-UNSPECIFIED: %[ch=1c3d5104]
[eid=IR809G-LTE-NA-K9+JMX2007X00Z][ip=192.168.1.1][sev=INFO][tid=qtp756319399-23]:
Inbound proxy request from [192.168.1.1] with client certificate subject [SERIALN
IR809G-LTE-NA-K9 SN:JMX2007X00Z, CN=IR800_JMX2007X00Z.cisco.com]
```

```
4352: iok-tps: Jul 13 2016 14:46:12.382 +0000: %CGMS-6-UNSPECIFIED:
%[ch=1c3d5104][eid=IR809G-LTE-NA-K9+JMX2007X00Z][ip=192.168.1.1][sev=INFO][tid=qtp756319399-23]:
Completed inbound proxy request from [192.168.1.1] with client certificate subject [SERIALN
UMBER=PID:IR809G-LTE-NA-K9 SN:JMX2007X00Z, CN=IR800_JMX2007X00Z.cisco.com]
```

```
4353: iok-tps: Jul 13 2016 14:46:12.425 +0000: %CGMS-6-UNSPECIFIED:
%[ch=TpsProxyOutboundHandler][ip=192.168.1.1][sev=INFO][tid=qtp687776794-16]:
Outbound proxy request from [192.168.1.2] to [192.168.1.1]
```

```
4354: iok-tps: Jul 13 2016 14:46:14.176 +0000: %CGMS-6-UNSPECIFIED:
%[ch=TpsProxyOutboundHandler][ip=10.10.10.61][sev=INFO][tid=qtp687776794-16]:
Outbound proxy request from [192.168.1.2] to [192.168.1.1]
```

## デバイス 登録

### ステップ 1. デバイス 登録の準備をして下さい

CG-NMS は CGNA プロファイル `cg nms` レジスタの設定を押します。余分コマンドは追加されます従ってプロファイルはインターバル タイマを待っているかわりに切れるためにすぐに実行されます。

CG-NMS は CGNA プロファイル `cg nms` トンネル トンネル提供をこの時点で考慮されます完全無効にします。

### ステップ 2. CG-NMS はデバイス 登録要求を受け取ります

- ずっと提供されます DB で確認して下さい
- `cgnms.odm` および `cg nmsscripts.tcl` ファイルがずっとフラッシュから抜けているか、または新しいバージョンにアップデートする必要があるかどうか確認して下さい。CG-NMS は自

動的にそれらを必要であればアップロードします。

- キャプチャ遠い現在のコンフィギュレーション
- 要求に含まれているすべての show コマンド出力を処理して下さい。抜けた物を必要であれば頼んで下さい。リストは遠いハードウェアコンフィギュレーションに基づいて変わるかもしれません。

ネットワーク内のゼロ タッチ配備を設定する詳細については Cisco Cisco パートナーかシステムエンジニアに連絡して下さい。

ルータの Express セットアップ構成に関しては、Cisco パートナーかシステムエンジニアに連絡して下さい。

## 関連情報

- [http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/routers/connectedgrid/cgr1000/1\\_0/software/configuration/guide/security/security\\_Book/sec\\_ztdv4\\_cgr1000.html](http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/routers/connectedgrid/cgr1000/1_0/software/configuration/guide/security/security_Book/sec_ztdv4_cgr1000.html)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)